

2 今後のとやま未来創生戦略について 新総合計画の策定

資料 2



■ 現行の総合計画の策定から6年半余りが経過し、 富山県を取り巻く社会経済情勢は大きく変化

現行総合計画：「元気とやま創造計画 -とやま新時代へ 新たな挑戦-」 (H30策定)

新たな課題

- ・ コロナ禍による変化への対応
(暮らし方・働き方の多様化、DXの加速化 等)
- ・ 激甚化、頻発化する自然災害への対応
- ・ 能登半島地震からの復旧・復興
- ・ 長引く物価高騰への対応
- ・ 人口減少社会の顕在化 (県内総人口が100万人割れ) など

新たな県政運営の基本方針を示す **新総合計画** を策定

— 新しい富山県の未来を描き、更なる成長・発展を目指す —

■ 新総合計画に「とやま未来創生戦略」を統合

(令和7年1月ごろから総合計画審議会を開催し計画策定の諮問を行う。)

■ 「第2期とやま未来創生戦略」の計画期間を延長

▶ 現行の取組みを切れ目なく進めていくため、

新たな総合戦略が策定されるまでの間、計画期間を1年間延長

(現行の計画期間：R2~R6をR2~R7に延長)

■ とやま未来創造県民会議の開催について

▶ 計画期間延長に伴い、現行戦略の進捗状況評価を行うため、

R7年度も引き続き開催予定